



Delhi
香料についての
最新情報
India



▲ちょっと活気の乏しかった今回のオークション

ーピズされました。出展は二百
トンの予定が二十トン増えて二
百二十トンとなったようです。
Rootファーストクラスから
Rootファーストクラスから
のスタートは、思わぬ高値のコ
ールで始まりました。値付けは
なし。その後、トン当たり二十
万ルピー程下げたが、誰も値付
けせず、取引なし。Rootセ
カンドも、やはり初値から十万
ルピー下げたが、値がつかず成
立せず。続いてRootサード
も掛け声はありませんでした。
聞くところによると、政
府が付けたスタート値
は前回の二十%アッ
プらしく、納得しま
した。このようにし
て次々にオークショ

ンは進められましたが、終わってみ
れば、今回落札されたのはCHER
IA(細い丸太)二・五トンとCH
ARRED Root(燃えた木の
根)の一トンのみでした。一部の競
り合いはあったものの、全体とし
ては活気の乏しいオークションとな
りました。政府が価格を吊り上げてい
るため、これでは入札者がついてい
けないのが現状のようです。十二時
五十分、オークション会場を後にし、
帰りを急ぎました。往路は八時間か
かったので食事はとらずに一路チェ
ンナイへ。急いだかいがあり、六時
間ほどで空港に
到着、事なきを
得ました。
※注 Root
白檀木の根の部分。
香りが濃厚なので線
香の原料に適している。



▲町中での庶民の“足”、オートリクシャ

今回のインドセラムのオークション
調査の旅を経験して、インドの白檀
の現状と、インド政府の厳しい輸出
規制について学びました。輸出につ
いては、オークションで落札した物で、
なおかつ二片五十グラム以下のサイズ
に再加工した物のみが許可されます。
そのままのRoot、丸太は輸出禁止
であるため、品質の良い材料がま
ます手に入りにくくなっています。
最近の政府主催のオークションでは
過去に経験のないぐらいの上昇幅で、
継続的に価格を上げようとしてい
ます。日本には、白檀をこよなく愛
し、使用して来た歴史と文化がある
わけですが、この文化を大切にしてい
くためにも、この事情をインドの
政府に少しでも理解してもらいた
めの努力をするともに、貴重な財
産を、より大切に使うことが
私達の課題だと強く感じました。

最高級の白檀 (Jajpokal ファーストクラス) ▶



手に汗握る思いでした。唯一、
途中五ルピー(安い)で買っ
て食べたヤシのおいしかった
こと。果汁を飲んだ後、実を
ナタで割って食べて中の白い
部分を削り取って食べるので
すが、それがまたおいしく、や
っと生き返った気がしました。
午後四時、セラム森林局を訪問後、
白檀の加工場の貯木場の下見。ここ
は見ると盗難防止のため
壁の上には盗難防止のため
ガラスや電気線、見張り塔、訓練の
行き届いた番犬。さらに商品には保
険をかけていると、盗難や
火事にも備えている様子がかげ
ました。各種グレードの加工中の白
檀の中には芯材や、さらに、よりグ
レードの高い白檀が見受けられ、赤

茶色の素晴らしい木肌を見せている
良質のものが並べられていました。
その後オークション会場の貯木場を
下見。明日のオークションに向け、
電灯のない倉庫では懐中電灯を照ら
しながら、遅くまで作業員による搬
入作業が続けられていました。

在は十九種余りになっています。輸
出規制もかなり厳しく、小さく再加
工したもののみ許可され、合計十二・
六%の税金が課せられます。
いよいよオークション始まる
一月二十五日、私達もオークション
の資料を手に入れるため登録。参加
したのは約二十社、三十人ぐらい。
十時開始の予定が二時間遅れのスタ
ートとなり、その間、主催者側から
ミネラルウォーターやクッキーがサ

白檀のオークションのルールとは:



▲無数の神様が彫りこまれた
ヒンズー寺院のゴープラム(塔門)